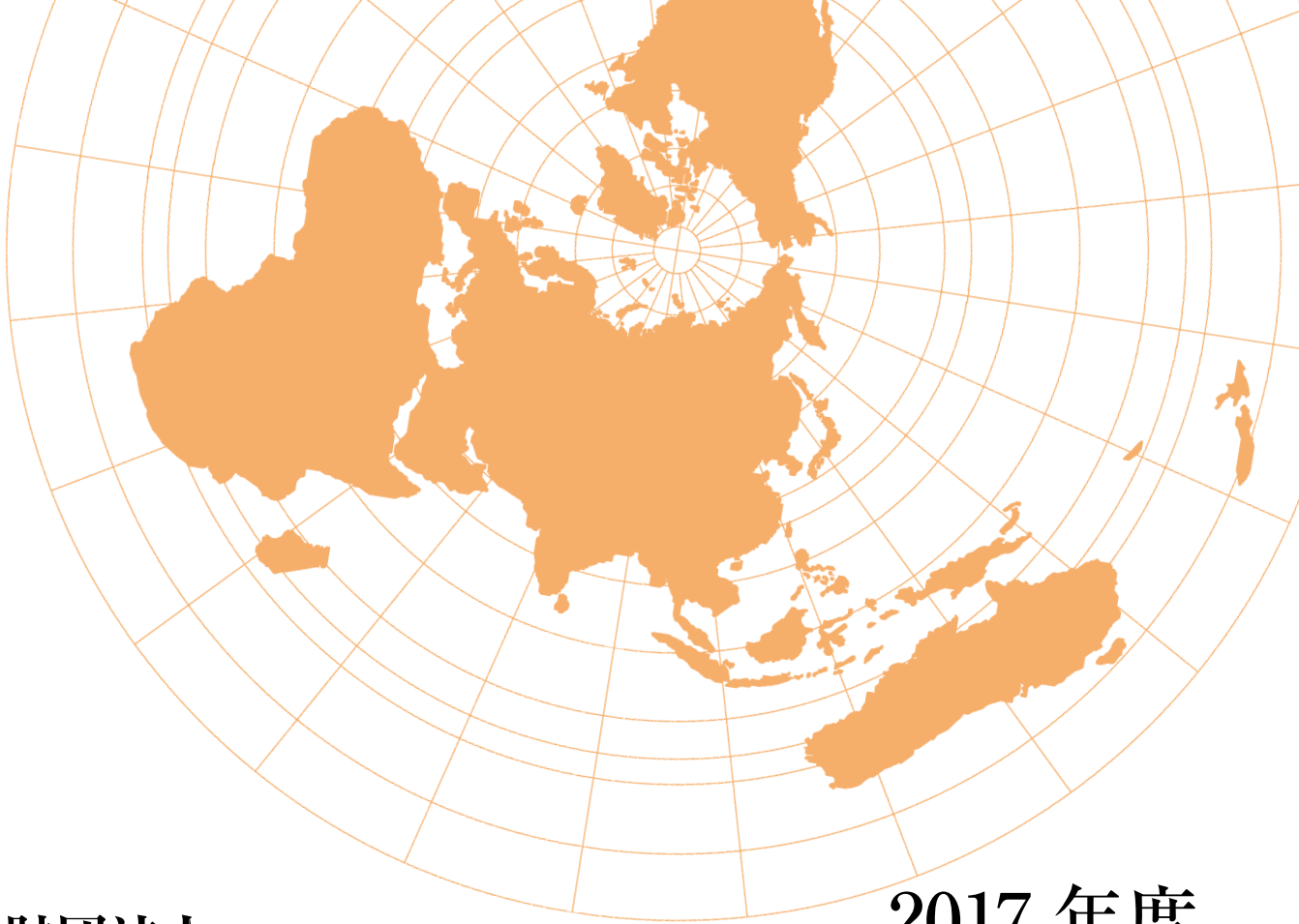




公益財団法人

2017 年度

渥美国際交流財団年報

ATSUMI INTERNATIONAL FOUNDATION
ANNUAL REPORT 2017



渥美健夫
(1919-1993)

渥 美国際交流奨学財団は故渥美健夫鹿島建設
名誉会長の遺志に基づき日本の国際化の推
進にささやかながらもお役に立ちたいとい
う願いをこめて、1994年4月1日に設立されました。

当財団は諸外国から日本の大学院に留学している優秀な学生に奨学援助をいたします。日本にやって来た留学生の皆さんが、学問を成就するだけでなく、豊かな文化や社会に触れ、より大きな収穫を得ることができますようお手伝いさせていただきたいと思います。

若者たちがより大きな世界を知るよう支援させていただくことによって、人々の心の中に国際理解と親善の芽が生まれ、やがては世界平和への道が開かれてゆくことを願っております。

目次 CONTENTS

理事長挨拶 2

■ 奨学事業

3

渥美奨学金の概要	4
2017 年度渥美奨学生（23 期生）研究報告会	5
蓼科ワークショップ	7
真夏の夜のバーベキューパーティ	8
工事現場見学会	8
新年会	9
ラクーン会	10

■ 国際交流事業

11

SGRA の概要	12
第 7 回日台アジア未来フォーラム	13
第11回 SGRA チャイナ・フォーラム	14
第17回日韓アジア未来フォーラム	14
第23・24・25 回日比持続可能な共有型成長セミナー	15
第 5 回アジア未来会議の準備始まる	15
第 3 回アジア未来会議・開催貢献賞を受賞！	15
第 2 回東アジア日本研究者協議会国際学術大会に参加	16
第10回 SGRA カフェ	17
第 6 回 SGRA ふくしまスタディツアー	17
第57回 SGRA フォーラム	18
第58回 SGRA フォーラム	19

■ 財団運営

業務日誌	20
財務諸表	21
財団人名簿	22
奨学生名簿	23
2017 年度の活動にご協力いただいた皆様	28

ごあいさつ

理事長 渥美伊都子

おかげさまで 2017 年度の事業もつつがなく終了いたしました。さまざまな機会にご支援ご協力いただいた方々に心から御礼申し上げます。

創立以来 23 年を経て送り出した奨学生が 278 名となり、その多くがアジア未来会議を始めとする渥美財団の様々な交流事業の推進役を担ってくださっていることを、大変喜ばしく思っております。

当初は中国・韓国・台湾を中心にアジアの方が圧倒的でしたが、近年の傾向としてヨーロッパ、アメリカ、南アメリカ、中東、アフリカなどの様々な地域の方々が加わるようになってきました。もう一つ気付くのは、交流会やパーティなどに小さなお子さんと一緒に参加してくださる方々が年々多くなってきたことです。時には、私のひ孫まで加わって子どもたちのサークルができたり、赤ちゃんを抱える元奨学生の若いお母さん、お父さんの情報交換の場となったり、ますます賑やかで楽しいパーティになってまいりました。

今年の新年会では、私の卒寿のお祝いをしてくださり、90 本の深紅の薔薇の花束をいただきました。両手に抱えきれないほどの花束をいただいたのは、初めての嬉しい経験でした。2017 年度 13 名の奨学生の出身国の 9 か国の国旗と私の好きなフクロウを飾った特大のケーキも特別なものでした。そして、最後に「渥美財団は、研究内容はおろか国境を越えて互いの理解を深めていこうとする共同体、私たちにとってこの世の中に希望を持たせる場所となっています！」というメッセージ読み上げてくださり、とても感動しました。

この不安定な世の中にあってこそ、人と人との繋がりを大切にしていってひとつひとつ積み重ねていく、ささやかであってもそのような活動を、これからも心掛けていきたいと思っております。

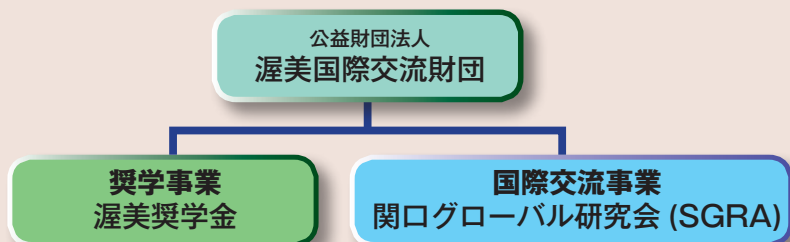
今後とも、ご支援、ご指導のほど、よろしくお願いいたします。



渥美財団のふたつの公益事業

渥美財団の事業は大きくふたつに分かれます。

奨学事業と国際交流事業（SGRA）です。



奨学事業

奨学事業からネットワークへ

渥 美国際交流財団は、奨学生の皆さんに自分とは異なる分野の人々と出会い、話し合う場を提供したいと思います。そのために、奨学金は必ずお目にかかってお渡しし、緊密なコミュニケーションをとりながら奨学支援を行います。奨学期間が終わった後も連絡を取り合い、ゆくゆくは世界的な規模の人的ネットワークを築けたら素晴らしいと思っています。

渥美奨学生の同窓会は、渥美健夫氏が描いていた狸にちなんでラクーン会と呼ばれています。ラクーン会は世界各地で開催されます。

2017 年度の主な活動

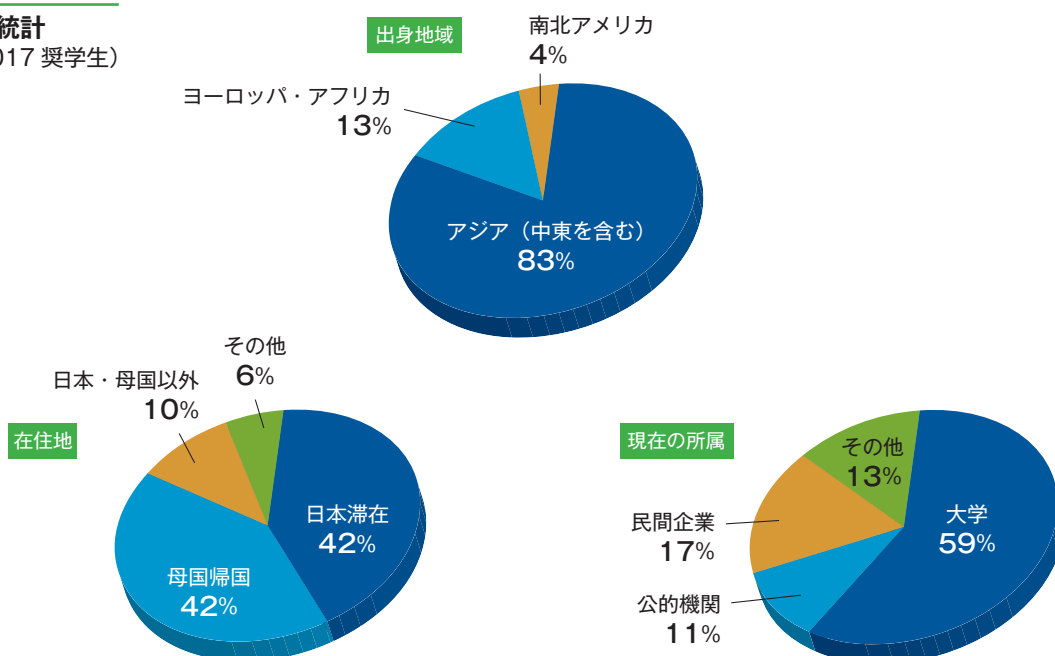
- 2017 年度渥美奨学生（23 期生）研究報告会 p5
- 蓼科ワークショップ p7
- 真夏の夜のバーベキューパーティ p8
- 工事現場見学会 p8
- 新年会 p9
- ラクーン会 p10

渥美奨学金の概要

渥 美国際交流財団は日本の大学院博士課程に在籍する留学生を対象に、毎年約12名の奨学生を募集・選考し、月額20万円の奨学金を支給しています。支給年限は1年間で、継続は認められません。奨学生の専攻分野と国籍に制限はありませんが、一分野・地域に偏らないように配慮しています。2017年度（23期生）までに、49ヶ国・地域、278人を支援してきました。

渥美奨学生統計

（1995～2017 奨学生）



募集および選考

■ 応募資格（下記のすべてに該当すること）

1. 日本以外の国籍を有し、日本の大学院の博士課程に在籍し、当財団の奨学金支給期間に博士号を取得する見込みのある方。正現在籍年限を超えたために、あるいは、海外の大学院より博士号を取得するために、研究員等として日本の大学院に在籍する方も含みます。
2. 渥美奨学金受給期間、所属する大学院研究科（研究室）と居住地の両方が、関東地方（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県）にある方。
3. 国際理解と親善に関心を持ち、当財団の交流活動に積極的に参加する意思のある方。
4. 日本語に堪能な方（応募書類と面接は全て日本語だけです）。
5. 渥美奨学金の受給期間に、正規の職（常勤職）に就いたり、他の奨学金を受ける予定のない方（当財団は常勤の方への支給、および月額5万円以上の他の奨学金との重複受給は認めません）。

■ 応募方法

奨学金希望者は、毎年7月以後、各大学院の留学生奨学金担当課または当財団事務局まで、募集要項と申込書をご請求下さい。また、当財団のホームページからもダウンロードすることができます。応募申込は毎年9月に受け付けます。

■ 選考の方法

事務局における書類と面接による予備審査の後、選考委員による書類選考と面接試験により審査します。

選考の方針（抜粋）

奨学支援を機縁とした渥美財団のネットワークは、どんなにささやかではあっても世界の調和ある発展のために役立たせたいと考えています。そのため、博士論文の研究内容が人類や社会、あるいは自然との調和ある発展に貢献する可能性が大きいと考えられるものを優先します。

2017 年度渥美奨学生（23 期生）

研究報告会

2018 年 3 月 3 日（土）

於：鹿島新館・渥美財団ホール

指導教官をはじめとする来賓の方々、次年度の奨学生、ラクーン（元奨学生）および財団関係者 50 名を超える人々が集い、これまでの研究成果を熱く語る 2017 年度奨学生たちの報告に聞き入った。



午後 2 時、渥美伊都子理事長の挨拶で報告会がスタート。奨学生の努力をねぎらうとともに、成果報告への期待が語られた。



「持ち時間は 15 分以内」「パワーポイントを使用」「専門外の人にもわかりやすく」の 3 つの制約をクリアした見事な報告が続く。



渥美財団理事の片岡達治氏（左）と東京慈恵会医科大学の松浦知和教授（右）より、厳しくも温かいコメントを頂戴した。



「今後はラクーン（元奨学生）として、SGRA での活躍を期待します」。歓迎の挨拶をするオリガ・ホメンコさん（2004 年度奨学生）。



4 時間を超える報告を終えたあとの交流会は、心づくしのご馳走と満足げな笑顔のあふれる楽しいものとなった。



2017 年度奨学生たち。研究分野こそ異なるものの、一年を通じてそれぞれの研究内容について話し合い、交流し、大きく成長した。

詳細は AISF ニュース <http://www.aisf.or.jp/jp/> 03.03 2017 年度渥美奨学生研究報告会 参照。

2017 年度奨学生の発表テーマ一覧

ペルシア語母語話者の儀礼的相互行為：
日本語による接触場面と母語場面の比較
アキバリ、フーリエ

Akbari, Hourieh (イラン)

千葉大学大学院
〈博士〉公共研究



近代日本の帝国美術界：東京・ソウル・
台北の官立美術展覧会の研究（1907 —
1945）

コウオジェイ、マグダレナ

Kolodziej, Magdalena (ドイツ・ポーランド)

デューク大学（早稲田大学）大学院
〈博士〉美術史



ネパールの初等教育における中退リスクの
規定要因：カトマンス盆地を事例として
バズラチャルヤ、ディヌ

Bajracharya, Dinu (ネパール)

お茶の水女子大学大学院
〈博士〉人間発達科学



様々なガス種中を進展するレーザー誘起
放電の研究

オフォス、ジョセフ アンパドゥ

Ofosu, Joseph Ampadu (ガーナ)

東京大学大学院
先端エネルギー工学



中国アニメーション史の再検証
（1920s — 1980s）

陳 龔

Chen, Yan (中国)

東京大学大学院
超域文化科学



肝性脳症の発症機序の解明を目指した
基礎的研究

朴 鍾燦

Park, Jonghyuk (韓国)

東京慈恵会医科大学大学院
〈博士〉臨床検査医学



生殖管理の政治：「妊活」という言葉に
ついて考える

ファスベンダー、イザベル

Fassbender, Isabel (ドイツ)

東京外国語大学大学院
国際社会



高等教育の社会的機能とは何か

沈 雨香

Sim, Woohyang (韓国)

早稲田大学大学院
〈博士〉教育基礎学



父娘関係の可視化：日本現代文学における
父娘関係の表象

グアリーニ、レティツィア

Guarini, Letizia (イタリア)

お茶の水女子大学大学院
〈博士〉比較社会文化学



平安朝文人論

宋 哈

Song, Han (中国)

東京大学大学院
〈博士〉日本文化研究



金工品からみた古代日韓交渉史研究：
古代朝鮮半島と日本列島の象嵌技術を
中心に

金 跳咏

Kim, Do-young (韓国)

総合研究大学院大学
〈博士〉日本歴史研究



「八〇後」作家と現代中国文化市場の変容
楊 冠穹

Yang, Guanqiong (中国)

東京大学大学院
〈博士〉アジア文化研究



蓼科ワークショップ

2017年6月30日（金）～7月2日（日）
於：大興蓼科山荘

2017年度奨学生の皆さんの親睦をかねて、2泊3日の蓼科ワークショップが開催された。心身ともにリフレッシュされる初夏の緑のなか、「平和とは何か」を考える充実した3日間となった。



新宿を出発し、まずは諏訪神社を参詣。湿った空気を歩き、巨大な樹木を眺め、ひとときの開放感を味わう。



1日目の夕食後、改めてお互いを知るためのアクティビティを行った。背中に貼られた白い紙にお互いの感想を書いていく。



2日目は平和について考えるワークショップ。ソウル大学の南基正先生（99 狸）の平和への思いのこもったご講演を伺った。



「銃と私」「靴下が出来るまで何人が関わるのか」など4グループに分かれて討論。その結果はプレゼンや寸劇の形で発表された。



2日目の夕食後に、北陸大学の李鋼哲先生（99 狸）による特別講演会「日本メディアにおける北朝鮮のイメージについて」が開催された。



「お互いに打ち解けた心」「平和のイメージ」など、数々の収穫のあった3日間を振り返りながら、帰宅の途についた。

真夏の夜の バーベキューパーティ

2017年7月29日(土)

於：鹿島新館・渥美財団ホール／中庭

ラクーン有志によるお国自慢料理（お得意料理）の数々が並び、次々に焼きあがる小田原からの新鮮な『海の幸』と美味しい肉や野菜。舌鼓を打ちながらおしゃべりの花が咲き、日頃は研究に没頭している皆さんの、夏の疲れを吹き飛ばすひとときとなった。



手作り料理の数々（写真下）。作り手が料理の特徴や由来を紹介すると、食べるのが待ちきれないとばかりに歓声があがる。



財団ホール・中庭で、火と煙をあげながら焼けていく山海の幸。煙をものともせず、焼きに徹する皆さんも楽しげだ。



東京ミッドタウン日比谷 工事現場見学会

2017年11月9日(木)

於：東京ミッドタウン日比谷

「今年一番の寒さ」というニュースが流れるなか、2018年3月頃オープン予定の『TOKYO MIDTOWN HIBIYA』の工事現場を見学。鹿島建設の担当者から、工法の重要なポイントやビルの機能についてレクチャーを受け、日本の建築技術を目の当たりにする時間となった。



「TOKYO MIDTOWN HIBIYA」は191m（35階）の超高層ビルだが、「制震構造-HiDAX-R」という機械が設置されており、地震の揺れのエネルギーをビルの揺れを抑えるエネルギーに変換することで震度7以上の地震に耐えられる。さらに、この建物には3000人以上の人々が避難できるスペースを用意していると聞き、頻繁に地震や津波や台風のような自然災害が起きる日本ならではの感動した。

詳細は AISF ニュース <http://www.aisf.or.jp/jp/> 11.09 東京ミッドタウン日比谷工事現場見学会報告 参照。

2018 新年会

2018 年 1 月 20 日 (土)

於：鹿島新館・渥美財団ホール

恒例の新年会は、朝早く集まっての餃子づくりからスタート。新年を寿ぎ、90 歳を迎える渥美伊都子理事長の卒寿を祝うために、奨学生、ラクーン（元奨学生）やその家族 50 名を超える人々が集まり、笑い声の絶えない和やかな時間が過ぎていった。



立派な重箱に詰められたおせち料理をはじめ、おいしいカレーやネパール式餃子「モモ」、ラビオリ風餃子も登場。国際色豊かな祝いの膳となった。



初めての餅つき体験に、子どもたちも大喜び。小さな体で力いっぱいお餅をつく。



卒寿を祝うため、2017 年度奨学生たちはおよそ 2 ヶ月前からサプライズの準備を開始。紫色と深紅を絶妙なバランスで合わせた 90 本の薔薇やそれぞれの国の国旗を飾った「多国籍ケーキ」、オリジナルイラストの入った手作りのカードなど、心のこもった祝いの品が贈られた。

理事長への手紙（抄録）

今日はここで、皆さんと理事長のお誕生日をお祝いできますことをとても嬉しく思います。今回のお誕生日へ向けて、先輩ラクーンの協力を得た上で、企画の段階から、みんなでもドキドキワクワクとしながら準備させていただきました。

渥美財団と縁を結んで早くも 1 年が経とうとしています。私たちは毎回ここに来るたびに、温かく出迎えて下さる皆様に、たくさんのエネルギーと希望をもらっております。先ほど皆で歌った Imagine の歌詞にもありました、—— Imagine there's no countries … Imagine all the people Living life in peace ——、渥美財団はきっとこの夢を実現させるひとつの大切な一歩ではないでしょうか。

ここにいる私たちも、それぞれの研究内容が違うものの、日々努力し、研究しているのは一つの大きな目的のためだと思います。世界中の人々がより平和に、幸せに、共に暮らせるようになること。という一つの目的です。渥美財団は、研究内容はおろか国境も越えて互いの理解を深めていこうとする共同体、私たちにとってこの世の中に希望を持たせる場所となっています！

この汲み尽くせないほどの感謝の気持ちとともに、理事長のこれからのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。どうもありがとうございました。

アキバリ、フーリエ（23 期生代表）

ラクーン会

世界各地で開催される渥美奨学生の同窓会、通称「ラクーン会」。2017年度は日本・台湾・韓国・アメリカ・中国・フィリピンなど、各国で開催され、活発な情報交換が行われるとともに、旧交を温める時間となった。

ラクーン会@フィラデルフィア 2017年5月13日(土)



ケビンさんと江蘇蘇さん(05 狸)がボストンから、ホサムさん(09 狸)がワシントンDCから、孫艶萍さん、許曉原さん(98 狸)、グロリアさん(15 狸)がNYから、張紹敏さん(97 狸)がハーシーから、家族を伴って集ってくれた。ランチ後に松風荘を見学。

ラクーン会@台北 2017年5月20日(土)



第7回日台アジア未来フォーラム(JTAFF)の成功を祝って、会場近く中華料理レストランで懇親会が開かれ、総勢40名が4つの円卓を囲んで料理を楽しむ賑やかな会となった。写真は2次会の会場「紫藤廬」に集った台湾ラクーンの総勢14名とその家族たち。

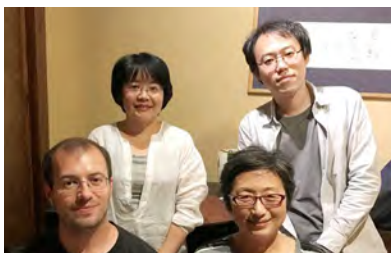
7月の韓国ラクーン会@Kホテル 2017年7月22日(土)



第4回アジア未来会議の会場となるソウル市江南のKホテルにて、韓国ラクーン会+第4回アジア未来会議説明会を開催。15名の韓国ラクーン会メンバーが集った。

※最後に残ったメンバーと。

ラクーン会@仙台 2017年9月17日(日)



2016年4月から東北大学勤務の朱琳さん(09 狸)とこの4月から東北学院大学に赴任したウルリッヒさん(12 狸)、文景楠(15 狸)が集まり、互いの研究・教育活動について楽しく語り合った。

11月の韓国ラクーン会@ソウル 11月20日(火)

来年8月のアジア未来会議の準備のために訪韓中の今西淳子常務理事を囲み、李セボンさん(13 狸)、李孝庭さん・金崇培さん(11 狸)、李垠庚さん(07 狸)、金賢旭さん(03 狸)、李香哲さん・金雄熙さん(96 狸)が集い、会議成功に向けて話し合った。※写真はなし。

ラクーン会@北京 2017年11月26日(日)



チャイナフォーラムの関係者を労う意味をこめて、その翌日に開催。金熙さん(95)、孫建軍さん(02)、李成日さん(06)、郝亮さん(13)、顔淑蘭さん(15)、グロリアさん(15)たちラクーンとそのご家族、フォーラム講師の塚本先生、渥美財団の本多と今西が集まり、本場の北京ダックに舌鼓を打った。

ミニ・ラクーン会の報告も続々

気軽に集まるミニ・ラクーン会も、世界各地で開かれている。



ニューヨーク



サンディエゴ



ジャカルタ



ソウル



台北

ラクーン会@マニラ 2018年3月26日(月)



第25回共有型成長セミナーの開催と第5回アジア未来会議の最初の準備会議の後、ラクーン夕食会を開催。フィリピンのラクーンは、マキトさん(95 狸)とブレンダさん(05 狸)だけだが、おふたりの活躍のおかげでフィリピンでSGRAがどんどん広がっている。

国際交流事業

良き地球市民の実現をめざす

渥 美財団の国際交流活動の中心を担うのが、SGRA（関口グローバル研究会）です。SGRAは世界各国から渡日し、長い留学生活を経て日本の大学院から博士号を取得した知日派外国人研究者が中心となって、地球社会の平和と調和ある発展に寄与する研究を推進する学術交流事業を行い、その成果を会議、フォーラム、レポート、ホームページ等で広く世界に発信しています。日本国内だけでなくアジアを中心に海外拠点を設けて活動しています。

SGRAは、ある一定分野の専門家ではなく、広く社会全般を対象に、幅広い研究領域を包括した国際的かつ学際的な研究交流活動を狙いとしています。良き地球市民に貢献することがSGRAの目標です。

2017 年度の主な活動

- 第7回日台アジア未来フォーラム p13
- 第11回SGRAチャイナ・フォーラム p14
- 第17回日韓アジア未来フォーラム p14
- 第23回・第24回・第25回
日比持続可能な共有型成長セミナー p15
- 第5回アジア未来会議の準備始まる p15
- 第3回アジア未来会議・開催貢献賞を受賞！ p15
- 第2回東アジア日本研究者協議会国際学術大会に参加 p16
- 第10回SGRAカフェ p17
- 第6回SGRAふくしまスタディツアー p17
- 第57回SGRAフォーラム p18
- 第58回SGRAフォーラム p19

SGRAの概要

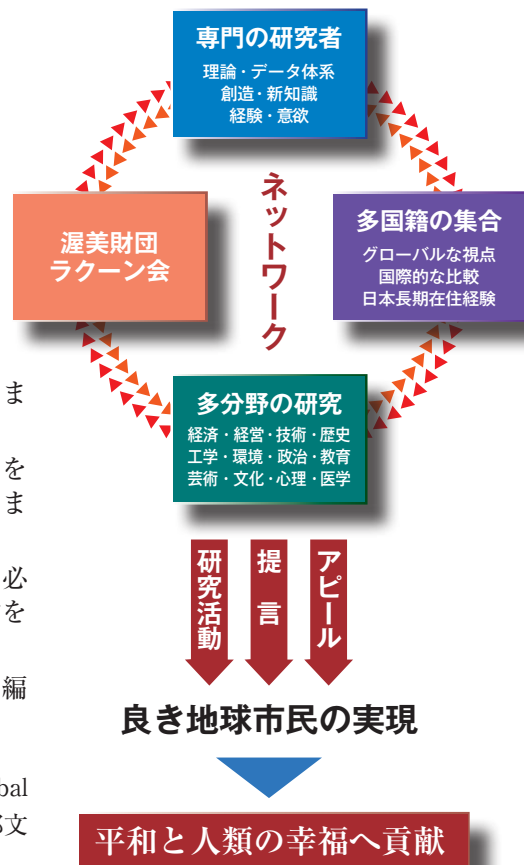


SGRAは、渥美財団の事業資金と法人・個人からの寄附金、諸機関からの各プロジェクトに対する助成金、その他の収入を運営資金として、運営委員会、プロジェクトチーム、編集チームによって活動を展開しています。

1. 運営委員会は、本会の運営に関する重要事項について決議します。
2. 運営委員会は、本会の目指す目標に合致する研究カテゴリーを選定し、適宜にプロジェクトチームを編成し、事業を推進します。
3. プロジェクトチームは、SGRAメンバーにより構成され、必要に応じて他の参加者を求め、事業を推進し、広く情報発信を行います。
4. プロジェクトチームは、個別プロジェクトの実施組織として編成されます。

SGRAは、渥美国際交流財団関口グローバル研究会（Sekiguthi global Research Association）の略称です。渥美財団の所在地である東京都文京区関口から世界に向かってグローバルな課題を発信します。

SGRAの特徴



主な事業

アジア未来会議

日本に留学経験のある研究者、日本に関心のある若手研究者、学生が一堂に集い、アジアの未来、地球社会の未来を学際的・国際的な視点から語り合う《場／プラットフォーム》です。2012年度から隔年度にアジアの主要都市で開催されています。

海外の研究機関等との共同プロジェクト

■ 日台アジア未来フォーラム

台湾の大学と共同で毎年開催。日本、台湾に共通する社会科学、人文科学のテーマを考察するフォーラム。

■ SGRA チャイナ・フォーラム

中国各地の大学や研究機関と共同で毎年開催。文化交流の過去、現在、未来を再検討するフォーラム。

■ 日韓アジア未来フォーラム

韓国（財）未来人力研究院との共同開催。社会科学や人文科学における諸課題を複眼的に考察するフォーラム。

■ 日比共有型成長セミナー

1970年代に日本が成し遂げた「共有型成長」の研究をキーに据え、フィリピンにおける諸課題を検討するセミナー。

SGRA フォーラムなどの学術交流事業

以下の8つのカテゴリーから導き出されるテーマに沿った円卓会議やフォーラムなどの学術交流活動を行います。

- ・グローバル化と地球市民
- ・構想アジア
- ・環境とエネルギー
- ・科学技術と人間社会
- ・東アジアの人材育成
- ・東アジアの安全保障と世界平和
- ・宗教と現代社会
- ・ジェンダーと社会

SGRA スタディツアーやSGRA カフェなど

SGRA ふくしまスタディツアーやSGRA カフェなどを随時実施しています。

第7回 日台アジア未来フォーラム

台・日・韓における重要法制度の比較 —憲法と民法を中心として—

日時：2017年5月20日（土）午前8時50分～午後6時
会場：国立台北大学台北キャンパス（台北市民生東路三段67号）
主催：国立台北大学法律学院、渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）
賛助：日本台湾交流協会、中鹿營造株式会社
後援：台湾日本人会、台北市日本工商会

今回のフォーラムでは、日本、韓国、台湾の専門家をお招きし、東アジア諸国における憲法と民法に関する法制度の比較をテーマとした。憲法上の国会制度および民商二法分立・統一に焦点を当て、各国の現行制度の説明と今後の課題についての検討が行われ、二つのセッションを通じて、互いの相違点を見出し、各国の法制度の改正に示唆を得ることができた。



午前9時。渥美伊都子理事長による開幕の挨拶を皮切りにフォーラムがスタート。



はじめにアメリカ・ハーバード大学のコーヤン・タン教授より、立憲主義の精神について全般的な比較を行う基調講演が行われた。



午前の部【憲法】では「日本、韓国、台湾における国会制度」が取り上げられ、各国の立憲制度に対する理解を掘り下げていった。



各国が直面している国際問題、領土問題、高齢化問題など、考えなければならない問題が浮き彫りとなっていく。



午後の部【民法】では「民商二法分立・統一」が取り上げられ、各国の報告を受けたコメントでは、興味深い問題点も提供された。



3国の異なる法制度の現状と今後の発展についての理解を深めたことを今後の研究に活かしたいとし、フォーラムは無事閉会した。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/>
蔡英欣「第7回日台アジア未来フォーラム報告『日本・韓国・台湾における重要法制度の比較—憲法と民法を中心に』」参照

第11回 SGRAチャイナ・フォーラム

東アジアからみた中国美術史学

日時：2017年11月25日（土）午後2時～午後5時
会場：北京師範大学後主楼914
主催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）
共賛：北京師範大学外国語学院、清華東亜文化講座
助成：国際交流基金北京日本文化センター、鹿島美術財団

今回のフォーラムでは、中国美術あるいは中国美術史が内包する時代と地域を越えた文化的多様性を検証。前近代から近代にかけての日本における中国美術コレクション形成と中国美術史学確立をめぐる人的・物質的往来とその交流史を照射し、越境や交流によって創出された新たな価値観をどのように受容・共有していくかを提示するものとなった。



本フォーラムは二部構成で展開。前半は問題提起と2つの講演が行われ、休憩をはさんだ後半に討論（質疑応答）が行われた。



前半の講演および後半の活発な議論を通し、作品のまわりにある事象にも光をあてて美術史を再評価することの意義を検討した。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/>
本多康子「第11回 SGRA チャイナ・フォーラム『東アジアからみた中国美術史学』@北京報告」参照。

第17回 日韓アジア未来フォーラム

北朝鮮開発協力

—各アクターから現状と今後を聞く—

日時：2018年3月16日（金）午後2時～午後5時
会場：韓国ソウル The-K Hotel / コンベンションセンター
主催：未来人力研究院（韓国）
共催：渥美国際交流財団 関口グローバル研究会（SGRA）

北朝鮮に対する開発支援は今後の交渉過程や問題の解決以降においても、韓国や日本を含め、国際社会が避けては通れない重要な課題である。本フォーラムでは、北朝鮮開発協力における主なアクターたちの対北朝鮮支援のアプローチとその現状について議論。新たな開発協力モデルの可能性を探った。



東アジアの「国際協力（援助）政策」を考えるシリーズ第3回。日・中・韓の研究者が集い、北朝鮮への開発協力のあり方を議論した。



南北会談、米朝会談が現実となったタイミングでの会議であったが、日本を含む東アジアの開発協力の必要性を再認識した。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/> 掲載予定。

第23・24・25回 日比持続可能な共有型成長セミナー

目標は「効率・公平・環境」の鼎立で、通称KKK セミナー。2004年以来マニラ市の大学で毎年2回セミナーを開催していたが、2011年からは実行委員会によって運営され、メンバーのKKKに関する研究とアドボカシー（主張）に焦点を当て、フィリピン各地で発表と議論が行われてきた。今後はフィリピン大学ロスバニョス校と協力し、より頻繁に開催する予定である。

【第23回】 経済的に困窮している コミュニティのための一体型の水システム

日時：2017年5月7日（日）
場所：アメコス・イノベーション社（マニラ）



フィリピンは今後10年以内に深刻な水不足になり得る。アメコスの社長アントニオ・マテオ先生の雨水利用の活動に焦点を当てた。

【第24回】 人や自然を貧しくしない進歩 —地価税や経済地代の役割—

日時：2017年9月23日（月）
場所：オーストラリア・シドニー市



実行委員のひとり、良き政府協会会員でもあるジョップレ・バルセ氏の提案により、初めてフィリピンの外での開催となった。

【第25回】 コミュニティ通貨と共有型成長

日時：2018年3月21日（水）
場所：フィリピン大学ロスバニョス校



世界には多数のコミュニティ通貨が存在する。国家が管理する通貨の届かない活動に対するコミュニティ通貨の可能性を探った。

第5回アジア未来会議の準備始まる！



日時：2018年3月25日（日）
場所：ソフィテル・フィリピンプラザ（マニラ）
最初の実行委員会が開催され、第5回アジア未来会議は2020年にマニラ市近郊で開催することが決まった。
テーマは「共有型成長」。

詳細は、SGRA かわらばん <http://www.aisf.or.jp/sgra/>
エッセイ536:マックス・マキト「マニラ・レポート2017年初夏」、エッセイ556:マックス・マキト「マニラ・レポート2017年秋」を参照。

第3回アジア未来会議 開催貢献賞を受賞！

第3回アジア未来会議が、日本政府観光局（JNTO）の平成29年度国際会議開催貢献賞を受賞。2018年2月28日、京王プラザホテルで授賞式が行われた。会議運営、地域貢献などにおいて、今後の模範となる実績を上げたことが評価された。



詳細は、SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/> 第3回アジア未来会議、日本政府観光局の開催貢献賞を受賞！ を参照。



第2回東アジア日本研究者協議会 国際学術大会に参加

日時：2017年10月27日（金）～29日（日）

会場：中国・天津賽象ホテル

主催：東アジア日本研究者協議会

共催：南開大学（中国・天津）

東アジア日本研究者協議会は、東アジアの日本研究関連の学術と人的交流を目的として、2016年に発足。2回目となる国際学術大会は中国・天津で開催され、SGRAからは下記の3パネルが参加した。

参加パネル1 日本の植民地支配下の東アジアにおけるメモリアル遺産

参加パネル2 おどましき女性の行方—フェミニズム批評から読む日本神話および昔話—

参加パネル3 戦争・架け橋・アイデンティティ—近代日本と東アジアの文化越境物語—



「日本研究の質的な向上」「自国中心の日本研究から多様な観点に基づく日本研究への志向」「東アジアの安定と平和への寄与」という3つの理念に賛同し、パネル参加を決めた。



各国から270名以上の日本研究者が集まった。3つのパネル参加を通してSGRAが日本研究に力を入れて精力的に支援していることが周知された。



SGRA 参加パネル1では、東アジア地域が日本の植民地支配を受けていた時代に構築された「メモリアル遺産」の歴史的広がりやそれがもつ現代的な意味について議論した。



SGRA 参加パネル2では、日本神話と昔話の原文および現代作家によって語り直された作品をフェミニズムの観点から考察、家父長的な要素を脱構築することを目的とした。



SGRA 参加パネル3では、戦前の東アジアという激動の時代において、戦争を超える日本と中国・東アジアの民間レベルの交流物語を取り上げ、東アジアの文化交流の意味を検討した。



SGRAからの参加者たち。さまざまな研究者との意見交換が実現し、自分たちの研究をより発展させるとともに、ネットワークを広げることができた。

詳細はSGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/> モリソン&ブリティカ・アルサテ、ボルジギン・ブレンサイン、林泉忠の各パネル報告 参照。

第10回 SGRA カフェ

産まれる前から死んだ後まで頑張らないと？ —「妊活」と「終活」の流行があらわすもの—

日時：2017年7月29日（土）午後1時30分～午後4時

会場：鹿島新館・渥美財団ホール

主催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）

SGRA カフェは、良き地球市民の実現をめざす（首都圏在住の）みなさんに気軽にお集まりいただき、講師のお話を伺う＜場＞として開催。10回目の今回は、年齢、性別、肩書を越えて、60名を超える方々が参加。いま話題となっている「就活」「婚活」といった「*活」の中でも新しい「妊活」と「終活」に注目した。人は自分の意志に沿って挑戦的に生きていくべきなのか、会場も一体となったディスカッションを通して考えていった。



講師は、ドロテア・ムラデノヴァさん（ライプツヒ大学東アジア研究所）とイザベル・ファスベンダーさん（東京外国語大学大学院／2017 奨学生）。



報告とその後の各議論での中心的な問いは、「社会から要請された『がんばれ』を、各個人がどのように受け止め、いかに人生における選択を主体的なものとするか？」だった。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/>
イザベル・ファスベンダー「第10回 SGRA カフェ『産まれる前から死んだ後まで頑張らないと？』報告」参照。

第6回 SGRA ふくしまスタディツアー

「帰還」—新しい村づくりが始まる—

日程：2017年9月15日（金）、16日（土）、17日（日）

主催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）

協力：特定非営利活動法人ふくしま再生の会

2011年の東日本大震災とそれに続く原子力発電所事故により、放射能汚染で全域が避難を余儀なくされた飯館村に焦点を当て、2012年から毎年、村の復興状況を知るために現地に出向いてきた。このスタディツアーでの体験や考察は SGRA ワークショップ、SGRA フォーラム、SGRA カフェなどのさまざまな催しで展開し、情報発信を続けている。



飯館村 2017 年 4 月に住民の避難区域から解除されたため、村民の帰還が始まり、新しい村づくりが動き出している。



今回はインドネシア、韓国、中国、ガーナ、イタリア、スウェーデン、カナダ、ネパール、アメリカのメンバーが参加した。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/>
ジャクファル・イドルス「飯館村復興の現状と課題—第6回 SGRA ふくしまスタディツアー報告」参照。



第4セッションは、食事と帽子という物質的、文化的要素にみられる長期的かつ系列的なモンゴルの影響についての発表であった。



3日目は午前中に全体討議セッションが行われ、午後はモンゴル軍が襲来した九州北部の重要拠点を見学した。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/>
金キョンテ「第2回日本・中国・韓国における国史たちの対話の可能性『蒙古襲来と13世紀のモンゴル帝国のグローバル化』円卓会議報告」参照。

第58回 SGRA フォーラム

アジアを結ぶ？『一帯一路』の地政学

日時：2017年11月18日（土）午後1時30分～午後4時30分

会場：東京国際フォーラム

主催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）

中国政府は2013年9月から、シルクロード経済ベルトと海上シルクロードをベースにしてヨーロッパとアジアを連結させる「一帯一路」政策を実行している。国際政治の秩序の視点から観れば、「一帯一路」政策が単純な経済目的のみを追求するものではないという構造を垣間見ることができる。本フォーラムでは、中国の外交・経済戦略でもある「一帯一路」政策の発展を、国際政治の観点から地政学の論理で読み解いていった。



総司会／モデレーター（平川均／国士館大学）と討論者の設定により、政治・経済学からの視点とジャーナリスト／実務レベルの視点も組み込まれた。



基調講演（朱建榮／東洋学園大学）では、「一帯一路」構想の具体的内容、推進された背景、経緯とその主な手段、戦略的目的についての分析が紹介された。



基調講演者及び報告者、討論者の構成は、日中韓の三カ国からそれぞれ2名ずつ。バランスの取れた報告がなされ、討論が深まった。



フリーディスカッションでは、フロアを含め様々な質問があった。「一帯一路」に対する警戒や危惧はまだ強いようだ。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/>
李彦銘「『一帯一路』—中国の戦略の含意を探る：第58回 SGRA フォーラム報告」参照。

財団運営

2017年度 業務日誌

4月6日	4月例会（於：学習院・目白倶楽部）
22日	第22回理事会（於：霞山会館）
5月7日	第23回日比持続可能な共有型成長セミナー 「経済的に困窮しているコミュニティのための一体型の水システム」（於：フィリピン・マニラ市）
8日	5月例会：個人面談（11日まで）
15日	2016年度年報発行
16日	SGRA レポート第80号「日中韓の国際開発協力ー新たなアジア型モデルの模索ー」発行
20日	第7回日台アジア未来フォーラム「日本・韓国・台湾における重要法制度の比較ー憲法と民法を中心に」（於：台北大学）
6月1日	第8回評議員会（2016年度事業報告と決算報告）・第22回理事会（書面決議）・親睦会（6月例会）（於：鹿島KIビル）
9日	SGRA レポート第79号「日本・中国・韓国における国史たちの対話の可能性（1）」発行
30日～7月2日	SGRA 蓼科ワークショップ「今こそ平和を」
7月1日	2018年度奨学生募集要項配布（関東地方の大学に通知、ホームページに掲載）
29日	第10回 SGRA カフェ 「産まれる前から死んだ後まで頑張らないと？ー「妊活」と「終活」の流行があらわすものー」（於：鹿島財団ホール） 8月例会：真夏の夜のバーベキューパーティ（於：渥美財団ホール）
8月7日～9日	第57回 SGRA フォーラム 「第2回日本・中国・韓国における国史たちの対話の可能性ー蒙古襲来と13世紀のモンゴル帝国のグローバル化ー」（於：北九州国際会議場国際会議室）
26日～27日	第10回ウランバートル国際シンポジウム「ユーラシアにおける日本とモンゴル」（於：モンゴル国立大学）
9月1日	2018年度奨学生応募受付開始
4日	9月例会：個人面談（8日まで）
15日～17日	第6回ふくしまスタディツアー「『帰還』ー新しい村づくりが始まるー」
23日	第24回日比持続可能な共有型成長セミナー 「人や自然を貧しくさせない進歩ー地価税や経済地代の役割ー」（於：オーストラリア・シドニー）
30日	2018年度奨学生応募締め切り（応募者総数99名）
10月4日	10月例会：食事会（於：アラジン・イラン料理）
6日～12日	2018年度奨学生書類審査
27日～29日	第2回東アジア日本研究者協議会国際学術会議（於：中国・天津賽象ホテル）
31日	2018年度奨学生候補者予備面接（11月7日まで）
11月9日	11月例会 現場見学会「東京ミッドタウン日比谷」
18日	第58回 SGRA フォーラム「アジアを結ぶ？『一帯一路』の地政学」（於：東京国際フォーラムガラス棟）
20日	SGRA レポート第81号「人を幸せにするロボット」発行
25日	第11回 SGRA チャイナ・フォーラム「東アジアからみた中国美術史学」（於：北京師範大学）
12月2日	2018年度奨学生最終選考・面接
4日	12月例会：個人面談（8日まで）
9日	第23回理事会（於：渥美財団ホール） 忘年会（於：渥美財団ホール）
1月20日	1月例会：新年会（於：渥美財団ホール）
2月1日	2月例会：個人面談（8日まで）
3月3日	3月例会：2017年度奨学生研究報告会（於：渥美財団ホール）
13日	2017年度奨学生最後の食事会（於：ホテル椿山荘東京『木春堂』）
16日	第17回日韓アジア未来フォーラム「北朝鮮開発協力ー各アクターから現状と今後を聞くー」（於：韓国ソウル The-K Hotel）
21日	第25回日比共有型成長セミナー「コミュニティ通貨と共有型成長」（於：フィリピン大学ロスバニョス校）

財務諸表

貸借対照表

2018年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額
I 資産の部	
1 流動資産	7,155,659
2 固定資産	
(1) 基本財産	4,520,187,027
(2) 特定資産	146,314,826
固定合計	4,666,501,853
資産合計	4,673,657,512
II 負債の部	
1 流動負債	1,120,429
2 固定負債	5,580,000
負債合計	6,700,429
III 正味財産の部	
1 指定正味財産	4,666,501,853
(うち基本財産への充当額)	(4,520,187,027)
(うち特定資産への充当額)	(146,314,826)
2 一般正味財産	455,230
正味財産合計	4,666,957,083
負債及び正味財産合計	4,673,657,512

正味財産増減計算書

2017年4月1日から2018年3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
基本財産運用益	52,095,408
特定資産運用益	664,086
受取補助金等	1,630,000
受取寄附金	33,141,600
雑収益	229,630
経常収益計	87,760,724
(2) 経常費用	
事業費	81,445,442
管理費	6,315,282
経常費用計	87,760,724
評価損益等調整前当期経常増減額	0
評価損益等計	0
当期経常増減額	0
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	0
(2) 経常外費用	
経常外費用計	0
当期一般正味財産増減額	0
一般正味財産期首残高	455,230
一般正味財産期末残高	455,230
II 指定正味財産増減の部	
受取寄附金	7,341,316
基本財産運用益	92,000,000
基本財産評価益	1,044,000,000
特定資産評価損	▲ 503,402
一般正味財産への振替額	▲ 66,504,819
当期指定正味財産増減額	1,076,333,095
指定正味財産期首残高	3,590,168,758
指定正味財産期末残高	4,666,501,853
III 正味財産期末残高	4,666,957,083

財団人名簿

(2018 年 4 月 1 日現在)

評議員

渥美直紀	評議員会長、鹿島建設株式会社代表取締役副社長
明石 康	公益財団法人国際文化会館理事長
秋山 豪	元鹿島建設株式会社取締役専務執行役員
渥美雅也	一般財団法人東京水産振興会専務理事
蟻川芳子	元日本女子大学学長、理事長
岩崎統子	公益社団法人 CISV 日本協会副会長
加藤秀樹	一般社団法人構想日本代表
鹿取克章	外務省参与（元駐インドネシア大使）
佐藤直子	東京国際大学教授
田村次朗	慶應義塾大学法学部教授
遠山友寛	弁護士 TMI 総合法律事務所パートナー
永山 治	中外製薬株式会社代表取締役会長
堀田健介	株式会社堀田総合事務所会長
八城政基	元株式会社新生銀行取締役会長
山本尚子	公益財団法人伊藤謝恩育英財団常務理事 事務局長

監事

上野 宏	株式会社村田製作所取締役 監査等委員
長岡美奈	公認会計士 長岡公認会計士、税理士事務所

理事

渥美伊都子	理事長
今西淳子	常務理事
片岡達治	元癌研究会研究員
金 外淑	兵庫県立大学看護学部心理学系教授
高 偉俊	北九州市立大学国際環境工学部教授
嶋津忠廣	前渥美国際交流財団事務局長
高橋 甫	公益財団法人 日本テニス協会常務理事
平川 均	名古屋大学名誉教授、国土舘大学 21世紀アジア学部教授
藤井純一	公益財団法人かめのり財団理事
李 恩民	桜美林大学グローバル・コミュニケーション学群教授
角田英一	事務局長

選考委員

畑村洋太郎	委員長、東京大学名誉教授、畑村創造工学研究所所長 (産業機械工学)
井上博允	東京大学名誉教授、元日本学術振興会監事 (情報工学)
片岡達治	(理事) (薬学)
佐野みどり	学習院大学教授 (美術史)
田村次朗	(評議員) (法学)
平川 均	(理事) (経済学)

奨学生名簿

【1995 年度奨学生】

Bambling, Michele バンプリング、ミッシェル [アメリカ] 女：コロンビア大学／慶應義塾大学 [博士] (美術史)：(在アブダビ)

Gao Lingna 高 玲娜 [中国] 女：一橋大学 [博士] (社会学)：(在横須賀)

Gao Weijun 高 偉俊 [中国] 男：早稲田大学 [博士] (建設工学)：北九州市立大学国際環境工学部教授、西安交通大学兼職教授 (在北九州)

Jin Xi 金 熙 [中国] 男：東京工業大学 [博士] (物理情報学)：Sheerwood 科技発展有限公司社長 (在北京)

Kwack Jae-Woo 郭 在祐 [韓国] 男：学習院大学 [博士] (美術史)：日本大学文理学部、学習院大学文学部非常勤講師

Maquito, Ferdinand マキト、フェルディナンド [フィリピン] 男：東京大学 [博士] (経済学)：フィリピン大学ロスバニョス校准教授 (在フィリピン、ロスバニョス)

Park Chul-Ju 朴 哲主 [韓国] 男：慶應大学 [博士] (商学)：三育大学経営学部副教授 (サバティカル中) 京都大学経済研究所共同研究者 (在京都)

Park Jung-Ran 朴 貞蘭 [韓国] 女：日本女子大学 [博士] (社会福祉学)：仁済大学社会福祉科副教授 (在釜山)

Shi Jianming 施 建明 [中国] 男：筑波大学 [博士] (数理工学／社会工学)：東京理科大学経営学部教授

Yao Hui 葉 会 [中国] 男：早稲田大学 (日本文学)：法政大学国際文化情報学部非常勤講師

Youn Seok-Hee 尹 錫姫 [韓国] 女：専修大学 [博士] (商学)：仁徳大学観光学部非常勤講師 (在ソウル)

○阪神大震災被災特別奨学生

Chen Xiao 陳 曉 [中国] 男：神戸大学 (医学)

Hornng Der-Juinn 洪 徳俊 [台湾] 男：神戸大学 [博士] (経営学)：国立中央大学企業管理系副教授 (在台湾桃園)

Wang Libin 王 立彬 [中国] 男：神戸大学 (自然科学)：(株) 東洋インキ製造 (在上海)

【1996 年度奨学生】

Chantachote, Viravat チャンタチョテ ビラバット [タイ] 男：慶應義塾大学 [博士] (法学)：タマサート大学法学部准教授 (在バンコク)

Gulench, Selim Yucel グランチ、セリム [トルコ] 男：東京大学 (政治学)：コンヤ市庁国際関係・観光部 (在トルコ コンヤ市)

Khin Maung Htwe キン マウン トウエ [ミャンマー] 男：早稲田大学 [博士] (応用物理)：Hotel AKIMOMI 社長 (在マンダレー)

Kim Woong-Hee 金 雄熙 [韓国] 男：筑波大学 [博士] (国際政治経済学)：仁荷大学校国際通商学部教授 (在仁川)

Lee Nae-Chan Huey 李 来賛 [韓国] 男：慶應義塾大学 [博士] (管理工学)：漢城大学経済学部教授 (在ソウル)

Nam Ki-Jeong 南 基正 [韓国] 男：東京大学 [博士] (国際関係論)：ソウル大学日本研究所 HK 教授 (在ソウル)

Park Keun-Hong 朴 根弘 [韓国] 男：東京工業大学 [博士] (生命理工学)

Qiao Xin 喬 辛 [中国] 男：東京工業大学 [博士] (無機材料工学)

Trede, Melanie Maria トレーデ、メラニー [ドイツ] 女：ハイデルベルグ大学／学習院大学 [博士] (日本美術史)：ハイデルベルグ大学東洋美術史研究所教授 (在ハイデルベルグ)

Zhao Qing 趙 青 [中国] 女：お茶の水女子大学 (比較文化)

Zhu Tingyao 朱 庭耀 [中国] 男：東京大学 [博士] (船舶海洋工学)：日本海事協会技術研究所首席研究員／ハルビン工科大学客員教授

【1997 年度奨学生】

De Maio, Silvana デマイオ、シルバーナ [イタリア] 女：東京工業大学 [博士] (日本語教育学)：ナポリ東洋大学准教授 (在ナポリ)

Fang Meili 方 美麗 [台湾] 女：お茶の水女子大学 [博士] (言語学)：(在ロンドン)

Isananto, Winurshito イサナント、ウィヌルシト [インドネシア] 男：慶應義塾大学 [博士] (応用化学)：インドネシア工業省マナド工業規格と研究研究所：(在インドネシア)

Kim Woe-Sook 金 外淑 [韓国] 女：早稲田大学 [博士] (健康科学)：兵庫県立大学看護学部心理学系教授 (在神戸)

Katagiri, Laohaburanakit Kanokwan (Noi) 片桐カノックワン、ラ

オハブラナキット (ノイ) [タイ] 女：筑波大学 [博士] (言語学、日本語教育)：チュラロンコン大学文学部日本語講座准教授 (在バンコク)

Lee Hyang-Chul 李 香哲 [韓国] 男：一橋大学 [博士] (経済学)：光云大学日本学科教授 (在ソウル)

Li Enmin 李 恩民 [中国] 男：一橋大学 [博士] (社会学)：桜美林大学グローバル・コミュニケーション学群教授

Nizamidin Jappar ニザミディン ジャッパル [アメリカ] 男：東京大学 [博士] (応用化学)：キモト・テック取締役 (在米ジョージア)

Wang Yuepeng 王 岳鵬 [中国] 男：東京大学 [博士] (医学)：上海交通大学医学院付属新華病院科研中心 (在上海)

Williams, Duncan ウィリアムズ、ダンカン [イギリス] 男：ハーバード大学／上智大学 [博士] (宗教学)：南カルフォルニア大学宗教学部長 (在ロサンゼルス)

Zhang Shao-min 張 紹敏 [中国] 男：東京大学 [博士] (医学)：(株) 渥盤会館代表 (在岡山)

【1998 年度奨学生】

Adiole, Emmanuel アディオレ、エマニュエル [ナイジェリア] 男：東京大学 [博士] (政治学)：ナイジェリア・エネルギー環境研究所主任研究員 (在ナイジェリア)

Cao Bo 曹 波 [中国] 男：早稲田大学 [博士] (建設工学)：株式会社北京 NTT データジャパン

He Zuyuan 何 祖源 [中国] 男：東京大学 [博士] (先端学際工学／光電子工学)：上海交通大学光ファイバ技術国家重点実験室教授 (在上海)

Hu Jie 胡 潔 [中国] 女：お茶の水女子大学 [博士] (文学)：名古屋大学大学院国際言語文化研究科教授 (在名古屋)

Kim Jaesung 金 宰晟 [韓国] 男：東京大学 (仏教学)：仏教大学院大学 (在ソウル)

La Insook 羅 仁淑 [韓国] 女：早稲田大学修了、流通経済大学 [博士] (経済学)：国士館大学政経学部非常勤講師、NPO 暖流代表

Lee Joo-Ho 李 周浩 [韓国] 男：東京大学 [博士] (電子工学)：立命館大学情報理工学部情報コミュニケーション学科教授 (在滋賀)

Mailisha マイリーサ [中国 (内モンゴル)] 女：一橋大学 [博士] (社会学)：昭和女子大学国際学部国際学科教授

Sun Yanping 孫 艶萍 [中国] 女：東京大学 [博士] (医学)：コロンビア大学医学部准教授 (在ニューヨーク)

Wu Hongmin 呉 弘敏 [中国] 女：東京工業大学 [博士] (精密工学)：フクダ電子 (株)

Xu Xiaoyuan 許 曉原 [中国] 女：東京大学 [博士] (農業生命科学)：コロンビア大学ナオミベリーセンター研究員 (在ニューヨーク)

【1999 年度奨学生】

Coimbra, Maria Raquel Moura コインブラ、マリア・ハケウ・モウラ [ブラジル] 女：東京水産大学 [博士] (資源育成学)：ペルナンブコ州立大学農水学部応用遺伝子研究室助教授 (在ブラジル)

Hong Kyung-Jin 洪 京珍 [韓国] 女：東京工業大学 [博士] (化学環境工学)：韓国環境省 (在ソウル)

Hou Yankun 侯 延昆 [中国] 男：東京工業大学 [博士] (物理電子化学／薬学)：UBS Investment Research (在香港)

Ju Yan 具 延 [中国] 男：筑波大学 [博士] (農学)：メッツォペーパージャパン (株)

Li Gangzhe 李 鋼哲 [中国] 男：立教大学 (経営学／経済学)：北陸大学未来創造学部教授 (在金沢)

Musikasinthorn Prachya ムシカシントーン、プラチヤー [タイ] 男：東京水産大学 [博士] (資源育成学)：カセサート大学水産学部助教授 (在バンコク)

Vu Thi Minh Chi ブティミンチー [ベトナム] 女：一橋大学 [博士] (地域研究)：ベトナム社会科学学院人間科学研究所研究員 (在ハノイ)

Wang Dan 王 旦 [中国] 男：東京藝術大学 [博士] (音楽)：パイオリニスト／昭光物産 (株)

Yang Jie Chi 楊 接期 [台湾] 男：東京工業大学 [博士] (教育工学)：国立中央大学網路学習科技研究所教授 (在台湾桃園)

Yeh Wen-chang 葉 文昌 [台湾] 男：東京工業大学 [博士] (電子物理工学)：島根大環総合理工学研究科准教授 (在松江)

Zhou Haiyan 周 海燕 [中国] 女：東京医科歯科大学 [博士] (医学)：たてやまクリニック院長 (在富山県)

[2000 年度奨学生]

Jin Zhengwu 金 政武 [中国] 男：東京工業大学 [博士] (物質科学)：ソニー株式会社

Jung Jae Ho 鄭 在皓 [韓国] 男：慶應義塾大学 [博士] (物質科学)：三星電子 LCD 総括 LCD 開発室 (在天安)

Jung Sung Chun 鄭 成春 [韓国] 男：一橋大学 [博士] (経済学)：対外経済政策研究院 (KIEP) (在ソウル)

Ko Hee Tak 高 熙卓 [韓国] 男：東京大学 [博士] (総合文化)：(株) グローカル・ニュース (Glocal News) 代表理事 (在済州)

Lim Chuan-Tiong 林 泉忠 [香港] 男：東京大学 [博士] (国際政治学)：中央研究院近代史研究所副研究員 (在台北)

Molnar Margit モルナール、マルギット [ハンガリー] 女：慶應義塾大学 [博士] (経済学)：OECD 研究員 (在バリ)

Naiwala Pathirannehelage Chandrasiri ナイワラ パティランネヘラーゲ チャンドラシリ [スリランカ] 男：東京大学 [博士] (電子情報)：工学院大学情報学部准教授

Ren Yong 任 永 [中国 (内モンゴル)] 男：群馬大学 [博士] (医学)：ニューヨーク州立大学医学部研究員 (在米バッファロー)

Suzuki Sato Hiromi スズキ サトウ、ヒロミ [メキシコ] 女：慶應義塾大学 (経済学)

Wu Yuping 武 玉萍 [中国] 女：千葉大学 [博士] (医学)：理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター (CDB) (在神戸)

Xu Xiangdong 徐 向東 [中国] 男：立教大学 [博士] (社会学)：(株) 中国市場戦略研究所代表取締役

Zeng Zhinong 曾 支農 [中国] 男：東京大学 [博士] (アジア文化)：湖北省留学人員聯誼会会長 (在武漢)

[2001 年度奨学生]

Borjigin, Burensain ボルジギン、ブレンサイン [中国 (内モンゴル)] 男：早稲田大学 [博士] (東洋史)：滋賀県立大学人間文化学部教授 (在彦根市)

Fan Jianting 範 建亭 [中国] 男：一橋大学 [博士] (経済学)：上海財經大學国際工商管理學院助教 (在上海)

Jeon Jin Hwan 全 振煥 [韓国] 男：東京工業大学 [博士] (建築材料)：鹿島建設 (株) 技術研究所主任研究員

Jiang Huiling 蔣 惠玲 [中国] 女：横浜国立大学 [博士] (電子情報工学)：(株) NTT ドコモ研究開発センター主査

Jin Xianghai 金 香海 [中国] 男：中央大学 [博士] (政治学)：逝去
Kostov, Vlaho コストブ、ブラホ [マケドニア/イタリア] 男：東京都立科学技術大学 [博士] (システム工学)：パナソニック・ヨーロッパ社 (在フランクフルト)

Lee Hyun-Young 李 炫瑛 [韓国] 女：お茶の水女子大学 [博士] (比較文化)：建国大学校師範大学日本語教育科助教授 (在ソウル)

Lee Young-Suk 李 英淑 [韓国] 女：筑波大学 [博士] (教育学)：(在釜山)

Liang Xingguo 梁 興国 [中国] 男：東京大学 [博士] (化学生命工学)：中国海洋大学食品科学与工程学院教授 (在青島)

Lwin U Htay ユ ティ ルィン [ミャンマー] 男：東京医科歯科大学 [博士] (社会医学及び公衆衛生学)：ロイヤル・ルィン・メディカルセンター所長 (在ヤンゴン)

Qi Jin Feng 奇 錦峰 [中国 (内モンゴル)] 男：東京医科歯科大学 [博士] (薬理学)：広東藍島生物技術公司 (在広州)

Sri Sumantyo, Josaphat Tetuko スリ スマンティヨ、ヨサファットテトコ [インドネシア] 男：千葉大学 [博士] (人工システム科学)：千葉大学環境リモートセンシング研究センター教授

[2002 年度奨学生]

Baek Insoo 白 寅秀 [韓国] 男：早稲田大学 [博士] (商学)：(在ソウル)

Chen Tzu-Ching 陳 姿菁 [台湾] 女：お茶の水女子大学 [博士] (国際日本学)：開南大学応用日本語学科・応用中国語学科副教授 (在台北)

Jo Gyuhan 曹 奎煥 [韓国] 男：早稲田大学 [博士] (地質学)

Hu Biangqun 胡 炳群 [中国] 男：日本工業大学 [博士] (システム工学)：日豊興業株式会社 (在名古屋/広州)

Iko Pramudiono イコ プラムディオノ [インドネシア] 男：東京大学 [博士] (電子情報工学)：インドネシア三井物産 (在ジャカルタ)

Mandah, Ariunsaihan マンダフ、アリウンサイハン [モンゴル] 男：一橋大学 [博士] (地域社会学)：(在米カンザス)

Mukhopadhyaya Ranjana ムコパディヤーヤ、ランジャナ [インド] 女：東京大学 [博士] (宗教学宗教史)：デリー大学東アジア研究科准教授 (在デリー)

Park Young-June 朴 榮潯 [韓国] 男：東京大学 [博士] (国際社会科学)：国防大学校安全保障大学院教授 (在ソウル)

Sun Jianjun 孫 建軍 [中国] 男：国際基督教大学 [博士] (日本語学)：北京大学外国語学院准教授 (在北京)

Wang Xi 王 溪 [中国] 男：東京大学 [博士] (電子情報工学)

Yimit, Abliz イミテ、アブリズ [中国 (ウイグル)] 男：横浜国立大学 [博士] (人工環境システム)：新疆大学化学化工学院教授 (在ウルムチ)

Yu Xiaofei 于 晓飛 [中国] 女：千葉大学 [博士] (社会文化科学)：日本大学法学部准教授

[2003 年度奨学生]

Chae Sang Heon 蔡 相憲 [韓国] 男：東京農工大学 [博士] (生物生産学)：天安連庵大学新環境園芸科教授 (在韓国天安)

Chang Kuei-e 張 桂娥 [台湾] 女：東京学芸大学 [博士] (学校教育学 (言語文化))：東呉大学日本語文学系副教授 (在台北)

Husel フスレ [中国 (内モンゴル)] 男：東京外国語大学 [博士] (地域文化)：昭和女子大学人間文化学部国際学科教授

Kim Hyeon Wook 金 賢旭 [韓国] 女：東京大学 [博士] (総合文化 (表象文化))：国民大学国際学部助教授 (在ソウル)

Kwak Jiwoong 郭 智雄 [韓国] 男：立教大学 [博士] (経営学)：九州産業大学商学部商学科准教授 (在福岡)

Lin Shaoyang 林 少陽 [中国] 男：東京大学 [博士] (総合文化 (超域文化))：東京大学総合文化研究科准教授

Lu Yuefeng 陸 躍鋒 [中国] 男：東京海洋大学 (海洋情報システム)：Merit Intelligence Development Centre, Director (在トロント)

Piao Zhenji 朴 貞姬 [中国] 女：明海大学 [博士] (応用言語学)：北京語言大学外国語学院日本語学部教授 (在北京)

Tisi, Maria Elena ティシ、マリアエレナ [イタリア] 女：白百合女子大学 [博士] (児童文学)：ポローニャ大学、ペルージャ外国人大学非常勤講師 (在ポローニャ)

Yamaguchi, Ana Elisa ヤマグチ、アナエリーザ [ブラジル] 女：一橋大学 [博士] (社会学)：(在ロンドン)

Yun Hui-suk ユン ヒスク [韓国] 女：東京大学 [博士] (材料学)：韓国機械研究院付属材料研究所 (KIMS) (在韓慶南道昌原)

Zang LI 臧 俐 [中国] 女：東京学芸大学 [博士] (学校教育学 (教育方法論))：東海大学短期大学部准教授

[2004 年度奨学生]

Ampong, Beryl Nyamekye アンボン、ベリル・ニャメケエ [ガーナ] 女：東京医科大学 [博士] (薬理学)：(在ワシントン D.C.)

Chin, Angelina Yan Yan チン、アンジェリーナ [アメリカ] 女：カリフォルニア大学サンタクルーズ校/お茶の水女子大学 [博士] (ジェンダー研究)：Pomona College 准教授 (在カリフォルニア)

Khomenko, Olga ホメンコ、オリガ [ウクライナ] 女：東京大学 [博士] (地域文化研究)：キエフモヒラアカデミー国立大学准教授 (サパティカル中)、東京外国語大学国際日本研究センター特任研究員

Lee Jea Woo 李 済宇 [韓国] 男：早稲田大学 [博士] (地盤地震工学)：AECOM, Associate Director (在メルボルン)

Lee Sung Young 李 承英 [韓国] 女：筑波大学 [博士] (言語学)：光云大学日本学科 (在ソウル)

Meng Zimin 孟 子敏 [中国] 男：筑波大学 [博士] (言語学)：松山大学人文学部教授 (在松山)

Mullagildin, Rishat ムラギルディン、リシャット [ロシア] 男：慶応大学 (環境デザイン)：RAUM Architects 社長 (在ロシア、ウファ)

Napoleon ナポレオン [インドネシア] 男：東京工業大学 [博士] (機械制御システム)：SMBC 日興証券

Sonntag, Mira ザンターク、ミラ [ドイツ] 女：東京大学 [博士] (宗教史学)：立教大学文学部キリスト教学科准教授

Tsai Ying-hsin 蔡 英欣 [台湾] 女: 東京大学 [博士] (法学): 国立台湾大学法学部副教授 (在台北)

Yang Myung Ok 梁 明玉 [韓国] 女: お茶の水女子大学 [博士] (人間発達科学): 建国大学校行政大学院招聘教授 (在ソウル)

Ye Sheng 叶 盛 [中国] 男: 東京大学 [博士] (先端学際工学): 東莞九域星医薬科技有限公司 (在香港)

[2005 年度奨学生]

Bao Lian Qun 包 聯群 [中国 (内モンゴル)] 女: 東京大学 [博士] (言語情報科学): 大分大学経済学部准教授 (在大分)

Han Junqiao 韓 珺巧 [中国] 女: 早稲田大学 [博士] (建築学): (在パークレー)

Han Kyoung Ja 韓 京子 [韓国] 女: 東京大学 [博士] (日本文化研究): 慶熙大学校日本語学科助教授 (在ソウル)

Jiang Susu 江 蘇蘇 [中国] 女: 横浜国立大学 [博士] (物理情報工学): 東芝セミコンダクター社 MITビジネススクール (在ボストン)

Kim Bumsu 金 範洙 [韓国] 男: 東京学芸大学 [博士] (社会系教育 (歴史)): (社) 国際交流振興協会理事長、東京学芸大学特命教授 (国際担当)、国立公州大学客員教授、湖南師範大学客員教授

Kim Yeonkyeong 金 娟鏡 [韓国] 女: 東京学芸大学 [博士] (心理学): 鹿児島大学教育学部家政専修准教授 (保育・児童学担当)

Lan Hong Yueh 藍 弘岳 [台湾] 男: 東京大学 [博士] (地域文化研究): 国立交通大学社会と文化研究所副教授 (在台北)

Tenegra, Brenda Resurecion Tiu テネグラ、ブレンダ レスレション ティウ [フィリピン] 女: お茶の水女子大学 [博士] (人間発達科学): LINGO24, Inc. (在フィリピンセブ島)

Vo Chi Cong ヴォー チー コン [ベトナム] 男: 東京工業大学 (数理・計算科学)

Wang Xueping 王 雪萍 [中国] 女: 慶応義塾大学 [博士] (政策メディア): 東洋大学社会学部准教授

Wong Kin Foon Kevin 王 健歡 [香港] 男: 総合研究大学院 [博士] (統計科学): Citizens Bank, Quantitative Analyst (在ボストン)

Zhao Changxiang 趙 長祥 [中国] 男: 一橋大学 [博士] (商学): (在上海)

[2006 年度奨学生]

Chu Xuan Gao チュ・スワン・ザオ [ベトナム] 男: 総合研究大学院大学 [博士] (文化人類学): ベトナム社会科学院文化研究所上席研究員 (在ハノイ)

Hu Xiying 胡 秀英 [中国] 女: 千葉大学 [博士] (看護教育学): 四川大学華西看護学部華西病院准教授 (在成都)

Hyun Seungsoo 玄 承洙 [韓国] 男: 東京大学 [博士] (地域文化): (在ソウル)

Li Chengri 李 成日 [中国] 男: 慶応義塾大学 [博士] (政治学): 中国社会科学院アジア太平洋・グローバル (全球) 研究院 (在北京)

Liang Yun-hsien 梁 蘊嫻 [台湾] 女: 東京大学 [博士] (比較文化): 元智大学応用外語学科助理教授 (在台北)

Mohottala, Shirmila モホッタラ、シャミラ [スリランカ] 女: 東京大学 [博士] (情報理工学): (在スリランカ)

Pantcheva, Elena Latchezarova パンチュワ、エレナ [ブルガリア] 女: 千葉大学 [博士] (日本研究): (在ブルガリア)

Seo Kyoung Sook 徐 景淑 [韓国] 女: 慶応義塾大学 (美学美術史): (在ソウル)

Sim Choon Kiat シム チュンキヤット [シンガポール] 男: 東京大学 [博士] (教育学): 昭和女子大学人間社会学部准教授

Sun Junyue 孫 軍悦 [中国] 女: 東京大学 [博士] (言語情報科学): 東京大学大学院人文社会系研究科・文学部専任講師

Weerasinghe, Nalin ウィーラシンハ、ナリン [スリランカ] 男: 電気通信大学 [博士] (電子工学): シュルンベルジェ (株) 電子エンジニア (在ヒューストン)

Woo Seonghoon 禹 成勲 [韓国] 男: 東京大学 [博士] (建築学): (在仁川)

[2007 年度奨学生]

Chan Chai-fong 詹 彩鳳 [台湾] 女: 東京大学 (地域文化研究): (在台北)

Deng Fei 鄧 飛 [中国] 男: 東京大学 [博士] (先端エネルギー学): Super C Inc. 代表 (在深圳)

Gangbagana ガンバガナ [中国 (内モンゴル)] 男: 東京外国語大学 [博士] (地域文化研究): 国際教養大学基盤教育助教 (在秋田)

Kim Minsuk 金 政淑 [韓国] 女: 早稲田大学 [博士] (建築学): 日本ミクニヤ株式会社 (在京都)

Lee Eungyong 李 垠庚 [韓国] 女: 東京大学 [博士] (地域文化研究): ソウル大学日本研究所 HK 研究教授 (在ソウル)

Mijiti, Abuduxukuer メジテ、アブドシュクル [中国 (ウイグル)] 男: 東京医科大学 [博士] (外科学): 新疆ウイグル自治区カシュガル地区第一人民医院腫瘍センターセンター長 (在カシュガル)

Park Sohyun 朴 昭炫 [韓国] 女: 東京大学 [博士] (文化資源学): 韓国文化観光研究院研究員 (在ソウル)

Porrás Rojas Oscar ボラス、ロハス オスカル [コスタリカ] 男: 東京海洋大学 [博士] (応用環境システム学): コスタリカ大学太平洋岸校副学長 (在コスタリカ、プンタレナス)

Quan Mingai 権 明愛 [中国] 女: 日本社会事業大学 [博士] (社会福祉学): 十文字学園女子大学人間生活学部講師

Wang Jian Hong 王 剣宏 [中国] 男: 早稲田大学 [博士] (建設工学): (株) 日本工営中央研究所研究員

Ohinata Mine (Yan Hainian) 大日向美音 (顔 海念) [中国] 女: 東京大学 [博士] (国際保健学): (株) 中外製薬医薬安全性本部

Yaroslav, Shulatov ヤロスラフ、シュラトフ [ロシア] 男: 慶応義塾大学 [博士] (政治学): 神戸大学大学院国際文化学研究科准教授 (在神戸)

[2008 年度奨学生]

Feng Kai 馮 凱 [中国] 男: 東京大学 [博士] (機械工学): 湖南大学機械学院教授 (在長沙)

Hong Yunshin 洪 ユンシン [韓国] 女: 早稲田大学 [博士] (国際関係学): プリティッシュコロロンビア大学アジア研究所研究員 (在バンクーバー)

Shiohara Vroni Friederike 塩原フロニー・フリデリケ [ドイツ/スイス] 女: 東京芸術大学 [博士] (文化財保存学): トヨタ自動車

Liu Jian 劉 健 [中国] 女: 北京大学/早稲田大学 [博士] (日本語文化): 首都師範大学専任講師 (在北京)

Lkhamsuren, Lkhagvasuren ハムスレン、ハグワスレン [モンゴル] 男: 早稲田大学 (国際関係学)

Nemekhjargal ネメフジャルガル [中国 (内モンゴル)] 男: 亜細亜大学 [博士] (経済学): 内モンゴル大学モンゴル学研究センター (在フフホト)

Phuong, Kimchhayarasy プアン、キムチャイヤラシー [カンボジア] 女: 宇都宮大学 [博士] (物性工学)

Song Gang 宋 剛 [中国] 男: 桜美林大学 [博士] (地域文化): 北京外国語大学日本語学部専任講師 (在北京)

Võrno, Heli-Liis ヴェルノ、ヘリ リース [エストニア] 女: 学習院大学 (哲学): (在ロンドン)

Wang Wei 王 偉 [中国] 男: 千葉大学 [博士] (人工システム): 南京信息工程大学教授 (在南京)

Xiu Zhen 修 震 [中国] 男: 東京工業大学 [博士] (機械制御システム): Hikvision USA, Product Manager (在カリフォルニア)

Yuk Jaehwa 陸 載和 [韓国] 男: 武蔵野美術大学 (造形芸術): 武蔵野美術大学非常勤講師

Zhang Jian 張 建 [中国] 男: 東京大学 [博士] (教育学): 東京電機大学理工学部共通教育群教職課程特任教授

[2009 年度奨学生]

Choi Eunseok 崔 恩碩 [韓国] 男: 国民大学/東京大学 [博士] (日本史学): 駐広島韓国総領事館先任研究員 (在広島)

Darwisheh, Housam ダルウィッシュ、ホサム [シリア] 男: 東京外国語大学 [博士] (地域文化研究): 日本貿易振興機構 (ジェトロ) アジア経済研究所

Kaba Melek カバメレキ [トルコ] 女: 筑波大学 [博士] (文芸・言語): ネヴシェヒル・ハジュ・ベクタシュ・ヴェリ大学東洋言語東洋文学科 助教授 (在トルコ)

Kim Youngsoon 金 英順 [韓国] 女：立教大学 [博士] (日本文学)：立教大学文学部非常勤講師

Kwak Youngjoo 郭 榮珠 [韓国] 男：千葉大学 [博士] (地球生命圏科学)：(独) 土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター (ICHARM) 専門研究員

Kwon Nam-hee 権 南希 [韓国] 女：東京大学 (国際法)：関西大学政策創造学部助教 (在大阪)

Rinchin リンチン [中国 (内モンゴル)] 男：東京外国語大学 [博士] (地域文化研究)：内モンゴル大学モンゴル学研究センター (在フフホト)

Schicketanz, Erik Christopher シッケタンツ, エリック [ドイツ] 男：東京大学 [博士] (宗教学宗教学史)：中央研究院近代史研究所 (在台北)

Shermatov Ulugbek シェルマトフ・ウルグベック [ウズベキスタン] 男：明治大学 [博士] (民法学)：ウズベキスタン最高裁判所上席法務官 (在タシケント)

Son Jounga 孫 貞阿 [韓国] 女：東京大学 [博士] (森林科学)：国立山林科学院森林病害虫研究科 (在ソウル)

Veldkamp, Elmer フェルトカンブ, エルメル [オランダ] 男：東京大学 [博士] (文化人類学)：ライデン大学日本学研究所専任講師 (在ライデン)

Ye Kyaw Thu イェ チョウ トウ [ミャンマー] 男：早稲田大学 [博士] (国際情報通信学)

Zhu Lin 朱 琳 [中国] 女：東京大学 [博士] (アジア政治思想史)：東北大学大学院国際文化研究科講師 (在仙台)

[2010 年度奨学生]

Phramahāchatpong Katapuñño プラマハチャッポン [タイ] 男：東洋大学 [博士] (仏教学)：(在米シアトル)

Choi Jung Eun 崔 禎恩 [韓国] 女：東京藝術大学 [博士] (文化財保存学)：国家記録院大統領記録館保存復元課学芸研究士 (在ソウル)

Kiatkobchai Siratsanan キャアコブチャイ・スィラッサナン [タイ] 女：学習院大学 [博士] (日本語日本文学)：(株) アートボックス (在バンコク)

Kim Kyongtae 金 キョンテ [韓国] 男：高麗大学／東京大学 [博士] (歴史学)：高麗大学文科大学研究教授 (在ソウル)

Lee Hyun Bon 李 賢凡 [韓国] 男：東京工業大学 [博士] (材料工学)：(株) POSCO 研究員 (在韓国全羅南道)

Li Jun 李 軍 [中国] 女：早稲田大学 [博士] (国語教育学)：早稲田大学教職大学院講師

Lu Liang 蘆 亮 [中国] 男：東京工業大学 [博士] (原子核工学)：中国科学院近代物理研究所研究員 (在蘭州)

Magid, Evgeni マギッド, イヴゲニ [イスラエル／ロシア] 男：筑波大学 [博士] (知能機能システム)：イノボリス大学教授 (在ロシア・カザン)

Mya Dwi Rostika ミヤ・ドウィ・ロスティカ [インドネシア] 女：国士舘大学 [博士] (政治学)：国士舘大学非常勤講師、アジア・日本研究所客員研究員、大東文化大学非常勤講師

Vigouroux, Mathias Dominique Yves ヴィグル, マティアス [フランス] 男：二松学舎大学 [博士] (中国学)：二松学舎大学文学部専任講師

Sakurai Shin (Wang Xin) 櫻井 慎 (王 昕) [中国] 男：東京医科歯科大学 [博士] (先端医療開発学)：ローム株式会社 (在京都)

Yoon Jin-Hee 尹 ジンヒ [韓国] 女：お茶の水女子大学 [博士] (ジェンダー学際研究)：同志社大学社会学部准教授 (在京都)

[2011 年度奨学生]

Chong Soonil 鄭 淳一 [韓国] 男：早稲田大学 [博士] (アジア地域文化学)：高麗大学校師範大学助教授 (在ソウル)

Ho Van Ngoc ホー ヴァン ゴック [ベトナム] 男：千葉大学 [博士] (建築都市科学)：鹿島建設 (株) 建築設計本部

Kang Moonhee 姜 文熙 [韓国] 女：日本社会事業大学 (社会福祉学)

Kim Eunhye 金 銀恵 [韓国] 女：ソウル大学／東京大学 [博士] (都市社会学)：ソウル大学アジア研究所研究員 (在ソウル)

Kim Soongbae 金 崇培 [韓国] 男：延世大学／慶應義塾大学 [博士] (国際政治学)：延世大学統一研究院専門研究員 (在ソウル)

Lee Hyojeong 李 孝庭 [韓国] 女：国際基督教大学 [博士] (比較文化)：世宗大学教養学部招聘教授 (在ソウル)

Li Yanming 李 彦銘 [中国] 女：慶應義塾大学 [博士] (政治学)：東京大学教養学部国際コミュニケーションセンター特任講師、慶應義塾大学東アジア研究所訪問研究員

Naheya ナヒヤ [中国 (内モンゴル)] 女：東京大学 [博士] (地域文化)：

内蒙古大学蒙古歴史学系歴史学専業主任 (在フフホト)

Park Joonui 朴 准儀 [韓国] 女：ボストン大学／東京大学 [博士] (国際政治経済)：ソウル大学訪問学者 (在ソウル)

Peng Hao 彭 浩 [中国] 男：東京大学 [博士] (日本文化研究)：大阪市立大学社会科学系研究院経済学研究科准教授 (在大阪)

Piao Wenying 朴 文英 [中国] 女：東京医科歯科大学 [博士] (脳神経病態学)

Xie Hui-zhen 謝 惠貞 [台湾] 女：東京大学 [博士] (アジア文化研究)：文藻外語大学日本語文学系助理教授 (在高雄)

[2012 年度奨学生]

Chen Jing-Young 陳 景揚 [台湾] 男：東京大学 (文化人類学)

Choi Seung-won 崔 勝媛 [韓国] 女：東京大学 [博士] (生物学)：国際基督教大学博士研究員

Dale, Sonja デール, ソンヤ [ノルウェー] 女：上智大学 [博士] (グローバル社会)：一橋大学社会学部特任講師

Flick, Ulrich フリック, ウルリッヒ [ドイツ] 男：ハイデルベルグ大学／早稲田大学 [博士] (東アジア研究)：東北学院大学教養学部講師 (在仙台)

Han Lingji 韓 玲姬 [中国] 女：筑波大学 [博士] (情報メディア)：東京国際ビジネスカレッジ講師

Li Xue 李 雪 [中国] 女：筑波大学 [博士] (文芸・言語)：寧波大学外国語学院講師 (在寧波)

Oh Jungkeun 呉 正根 [韓国] 男：横浜国立大学 [博士] (環境リスクマネジメント)：国立環境科学院研究員 (在仁川)

Park Hyunjung 朴 炫貞 [韓国] 女：武蔵野美術大学 [博士] (造形芸術)：北海道大学高等教育推進機構科学技術コミュニケーション教育研究部門 (CoSTEP) 特任助教授 (在札幌)

Rio, Aaron リオ, アーロン [アメリカ] 男：コロンビア大学／学習院大学 [博士] (日本美術史)：ミネアポリス美術館日本・韓国美術学芸員 (在ミネアポリス)

Sung Kihyuk 成 耆赫 [韓国] 男：明治大学 (日本文学)

Uzum, Abdullah ウズム・アブドゥラ [トルコ] 男：東京農工大学 [博士] (情報工学)

Yin Feilong 尹 飛龍 [中国] 男：東京農工大学 [博士] (機械システム工学)：井関農機 (株)

Zheng Xiu 鄭 秀 [中国] 男：東京医科歯科大学 [博士] (消化器病態学)

[2013 年度奨学生]

Aroz, Rafael Aingeru アロツ, ラファエル アインゲル [スペイン] 男：東京大学 [博士] (文化・人間情報学)：慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス総合政策学部訪問講師 (招聘)

Choi Gayoung 崔 佳英 [韓国] 女：東京大学 [博士] (社会学)：東京大学学術研究員、大妻女子大学非常勤講師

Hao Liang 郝 亮 [中国] 男：千葉大学 [博士] (人工システム科学)：天津科学技術大学講師 (在天津)

Hsu Han-Hsiu 許 漢修 [台湾] 男：筑波大学 [博士] (生命産業科学)：神戸大学科学技術イノベーション研究科学術研究員

Jin Guiying 金 桂英 [中国] 女：早稲田大学 (日本語教育学)：早稲田大学日本語教育研究センター助手

Lee Saebom 李 セボン [韓国] 女：東京大学 [博士] (地域文化研究)：ソウル大学非常勤講師 (在ソウル)

Nordström, Karl Johan ノルドストロム, カール ヨハン [スウェーデン] 男：早稲田大学 [博士] (演劇映像学)：都留文科大学国際教育学科講師

Tamayo, Ruiz Efrain Eduardo タマヨ, ルイス エフライン エドアルド [コロンビア] 男：東京大学 [博士] (先端学際工学)：(株) 日立製作所日立研究所研究員 (在ロンドン)

Virag, Viktor ヴィラーグ, ヴィクトル [ハンガリー] 男：日本社会事業大学 [博士] (社会福祉学)：長崎国際大学人間社会学部講師 (在長崎)

Xie Pu 解 璞 [中国] 女：早稲田大学 [博士] (日本語日本文学)：北京大学外国語学院 (在北京)

Zamengo, Massimiliano ザメンゴ, マッシミリアーノ [イタリア] 男：東京工業大学 [博士] (原子核工学)：東京工業大学物質理工学院助教

Zhang Liang 張 亮 [中国] 男：慶應義塾大学 [博士] (医学研究) (在カナダ)

[2014 年度奨学生]

Abdin, Mohamed Omer アブディン、モハメド オマル [スーダン] 男：東京外国語大学 [博士] (総合国際学)：学習院大学法学部特別客員教授

Cakir, Murat チャクル、ムラット [トルコ] 男：筑波大学 (教育基礎学)：関西外国語大学特任講師 (在大阪)

Chae Kyeonghoon 蔡 兪勲 [韓国] 男：東京芸術大学 (映像メディア学)：韓国映画振興委員会 (KOFIC) 研究員 (在韩国)

Gerelchuluun, Ariungerel ゲレルチュルン、アリウンゲレル [モンゴル] 女：筑波大学 [博士] (疾患制御医学)：(在米バージニア州)

Goginashvili, David ゴギナシュヴィリ、ダヴィド [グルジア] 男：慶應義塾大学 [博士] (政策メディア)：慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員

Hu Yanhong 胡 艶紅 [中国] 女：筑波大学 [博士] (歴史・人類学)：華東師範大学研究員 (在上海)

Kim Taehee 金 兌希 [韓国] 女：慶應義塾大学 [博士] (政治学)：コンスタンツ大学非常勤研究員、社会科学データ分析修士課程 (在ドイツ・コンスタンツ)

Li Hui 李 暉 [中国] 女：東京大学 [博士] (建築学)：奈良文化財研究所アソシエイトフェロー (在奈良)

Li Ting 李 婷 [中国] 女：早稲田大学 [博士] (日本語教育学)：日本大学文理学部助教

Mohammad, Jakfar Idrus ムハッマド、ジャクファル・イドルス [インドネシア] 男：国士舘大学 (政治学)：国士舘大学 21 世紀アジア学部非常勤講師、国士舘大学アジア・日本研究センター客員研究員

Ryu Chunghee 柳 忠熙 [韓国] 男：東京大学 [博士] (比較文学比較文化)：福岡大学人文学部講師 (在福岡)

Wang Huijun 王 慧雋 [中国] 女：早稲田大学 (日本語教育学)：早稲田大学日本語教育研究センター助手

[2015 年度奨学生]

Buritica Alzate, Jiliana ブリティカ アルサテ、フリアナ [コロンビア] 女：国際基督教大学 [博士] (アーツ・サイエンス)：神奈川大学外国語学部非常勤講師、IES 全米大学東京留学センター非常勤講師、国際基督教大学ジェンダー研究センター研究所助手

Cassim, Laila Frances カセム、ライラ・フランセス [イギリス] 女：東京芸術大学 [博士] (美術)：東京大学先端技術研究センター特任助教

Cho, Guk 趙 国 [韓国] 男：早稲田大学 [博士] (人文科学)

Feltens, Frank フェルテンズ、フランク [ドイツ] 男：コロンビア大学／学習院大学 [博士] (美術史考古学)：フリーア美術館学芸員 (在ワシントン DC)

Giglio, Emanuele Davide ジッリオ、エマヌエーレ ダヴィデ [イタリア] 男：東京大学 (アジア文化研究)：身延山大学東洋文化研究所研究員

Grib, Dina グリブ、ディーナ [ロシア] 女：首都大学東京 (人間科学)：名古屋大学国際教育交流センター、文学部人文学研究科特任講師 (在名古屋)

Kim, Yullee 金 律里 [韓国] 女：東京大学 (基礎文化研究)：(在ソウル)

Li, He-Shu 李 赫書 [台湾] 男：東京大学 (アジア文化研究)：東京大学大学院人文社会系研究科助教

Moon, Kyungnam 文 景楠 [韓国] 男：東京大学 [博士] (哲学)：東北学院大学教養学部言語文化学科准教授 (在仙台)

Park, Wonhwa 朴 源花 [韓国] 女：東京大学 (国際社会科学)：

Yan, Shulan 顔 淑蘭 [中国] 女：早稲田大学 [博士] (教科教育学)：社会科学院文学研究所ポスドク研究員 (在北京)

Yang, Yu Gloria ヤン、ユー グロリア [中国] 女：コロンビア大学／東京大学 (美術史)：九州大学大学院人文科学研究科助教 (在福岡)

[2016 年度奨学生]

Chang, Wei-Jung 張 瑋容 [台湾] 女：お茶の水女子大学 [博士] (ジェンダー学際研究)：お茶の水女子大学基幹研究院リサーチフェロー

Cho, Ahra 曹 娥羅 [韓国] 女：ソウル大学／慶應義塾大学 (国際地域学)：韓国国立外交院外交安保研究所日本研究センター研究員 (在ソウル)

Choi, Yurina 崔 ユリナ [韓国] 女：武蔵野美術大学 (造形美術)

Hong, Sung-min 洪 性珉 [韓国] 男：早稲田大学 [博士] (人文科学)：早稲田大学文学学術院総合人文科学研究センター助手

Jeon, Sangryul 全 相律 [韓国] 男：東京大学 (言語情報科学)：神田外国語大学外国語学部アジア言語学科非常勤講師、神奈川大学外国語学部国際文化交流学科非常勤講師、帝京大学外国語学部外国語学科非常勤講師

Jiang, Jianwei 蒋 建偉 [中国] 女：早稲田大学 [博士] (人文科学)：(在広州)

Lamsal, Bikash ラムサル、ビカス [ネパール] 男：足利工業大学 [博士] (情報・生産工学)：鹿島建設技術研究所研究員

Lee, Ji Hyeong 李 志炯 [韓国] 男：千葉大学 [博士] (デザイン科学)：第一工業大学建築デザイン学科助教 (在鹿児島)

Lin, Qian Qian 林 茜茜 [中国] 女：早稲田大学 [博士] (教科教育学)：同済大学専任講師 (在上海)

Morrison, Lindsay Ray モリソン、リンジー レイ [アメリカ] 女：国際基督教大学 (アーツ・サイエンス)：武蔵大学人文学部助教

Nam, Euiyoung 南 衣映 [韓国] 女：東京大学 (学際情報学)

Noh, Joeeun 盧 ジュウン [韓国] 女：東京大学 (学際情報学)

[2017 年度奨学生]

Akbari, Hourieh アキバリ、フーリエ [イラン] 女：千葉大学 [博士] (公共研究)：千葉大学人文社会科学部研究科特別研究員

Bajracharya, Dinu バズラチャルヤ、ディヌ [ネパール] 女：お茶の水女子大学 [博士] (人間発達科学)：(在カトマンドゥ)

Chen, Yan 陳 龔 [中国] 女：東京大学 (超域文化科学)

Fassbender, Isabel ファスベンダー、イザベル [ドイツ] 女：東京外国語大学 (国際社会) (在京都)

Guarini, Letizia グアリーニ、レティツィア [イタリア] 女：お茶の水女子大学 [博士] (比較社会文化学)：国際基督教大学ジェンダー研究センターリサーチアシスタント

Kim, Do-young 金 跳咏 [韓国] 男：総合研究大学院大学 [博士] (日本歴史研究)：国立歴史民俗博物館ポスドク研究員

Kindstrand, Love シンドストラン、ロヴェ [スウェーデン] 男：シカゴ大学／上智大学 (比較文化研究)

Kolodziej, Magdalena コウオジェイ、マグダレナ [ドイツ・ポーランド] 女：デューク大学／早稲田大学 [博士] 美術史：デューク大学講師 (在米ダーラム)

Ofosu, Joseph Ampadu オフォス、ジョセフ アンペドゥ [ガーナ] 男：東京大学 (先端エネルギー工学)：イマジニアリング (株) (在神戸)

Park, Jonghyuk 朴 鍾燦 [韓国] 男：東京慈恵会医科大学 [博士] (臨床検査医学)：日本医科大学スポーツ科学教室ポスドク研究員

Sim, Woohyang 沈 雨香 [韓国] 女：早稲田大学 [博士] (教育基礎学)：早稲田大学教育・総合科学学術院助手

Song, Han 宋 哈 [中国] 男：東京大学 [博士] (日本文化研究)：フェリス女子大学文学部助教

Yang, Guanqiong 楊 冠穹 [中国] 女：東京大学 [博士] (アジア文化研究)：東京大学総合文化研究科学術研究員

[2018 年度奨学生]

Chiang, Yung Po 江 永博 [台湾] 男：早稲田大学 (日本史学)

Cho, Suil 趙 秀一 [韓国] 男：東京大学 (言語情報科学)

Corbel, Amélie コーベル、アメリ [フランス] 女：パリ政治学院／一橋大学予定 (比較政治)

Haritaipan, Lalita ハリタイパン、ラリター [タイ] 女：東京工業大学 (工学機械)

Kim, Boram 金ボラム [韓国] 女：東京大学 (電気系工学)

Liang, Yihua 梁奕華 [中国] 女：東京外国語大学 (言語文化)

Min, Dongyup 閔東暉 [韓国] 男：東京大学 (地域文化研究)

Shorina, Dariyagul ショリナ、ダリヤグル [カザフスタン] 女：筑波大学 (国際日本研究)

Wu, Xiaoxiao 武瀟瀟 [中国] 女：フランス国立高等研究実習院 (EPHE)／東京大学 (歴史学・文献学)

Wuerrerr, Stefan ヴューラー、シュテファン・ヨアキム [オーストリア] 男：東京大学 (超域文化科学)

Xie, Fang 解 放 [中国] 男：東京外国語大学 (言語文化)

Yang, Chun Tin 楊 淳婷 [台湾] 女：東京芸術大学 (芸術環境創造)

2017年度の活動にご協力いただいた皆様

ありがとうございました

奨学事業及び公益目的事業への寄附・賛助・支援

団体

(株) アクト・テクニカルサポート	ケミカルグラウト (株)	中外製薬 (株)
大和証券 (株)	(株) イリア	鹿島道路 (株)
鹿島建設 (株)	鹿島リース (株)	鹿島建物総合管理 (株)
かたばみ興業 (株)	(株) 三井住友銀行	大興物産 (株)
東亜産業 (株)	横浜実業 (株)	

個人

渥美伊都子 藤井純一 井手園子 高 熙卓 李 鋼哲 八城政基

国際交流事業 (SGRA) の活動への寄附・賛助・支援

団体

中外製薬 (株)	中鹿營造股份有限公司	イースト不動産 (株)
鹿島道路 (株)	鹿島建物総合管理 (株)	カジマ・オーバーシーズ・アジア
キッコーマン (株)	(株) 小堀鐸二研究所	プラス (株)
スナヤン開発	大興物産 (株)	(株) 虎 屋

個人

阿部和彦	足立憲彦	赤池 豊	明石 康	秋山 豪	網倉和仁
新井欣弥	蟻川芳子	渥美恵子	渥美直紀 美恵子		渥美伊都子
包 聯群	藤田隆則	深田 宏	福島和彦	船本洋治	具 延
原 嘉男	橋本留理子	平泉とみ子	平川 均	星埜弘明	堀田健介
井手園子	今西淳子	稲山孝英	井上博允	石田弘幸	石倉洋子
鹿島順介	郭 在祐	金子 宏	狩野正利	片岡達治	河村一雄
川崎 剛	木宮正史	木村健一	金 政武	岸本啓子	幸田初枝
小泉博義	近藤寿治	越島啓介	高 偉俊	工藤 捷	功刀欣弥
呉 弘敏	栗屋志伸 (張桂娥)		前川昭一	前川麻里	三澤正勝
森川敏雄	森本洋史	武 玉萍	村田雄二郎	中上英俊	中村順次
中曽根康弘	中谷俊信	中澤忠義	並木隆史	野村維男	沼田正博
小川 忠	尾島俊雄	岡 昌男	岡本 章	奥村裕一	太田美行
大塚 寿	大内聖子	大脇正志	李 鋼哲	リオ・アーロン	
李 恩民	蔡 英欣	斎藤信男	真辺文宏	佐藤直子	佐藤道信
瀬谷啓二	施 建明	島田精一	嶋津忠廣	塩崎恭久	白石勝己
朱 庭耀	園部哲史	末永 航	鈴木由美子	高橋 司	高橋信之
竹田 優	竹本 孝	竹内 忍	瀧沢秀利	谷原 正	田代民治
戸河里敏	外岡 豊	遠山幸三	東城清秀	辻 悦子	于 曉飛
上野 宏	山田俊作	山上宏介	柳田耕一	八城政基	由田哲也

(敬称略)

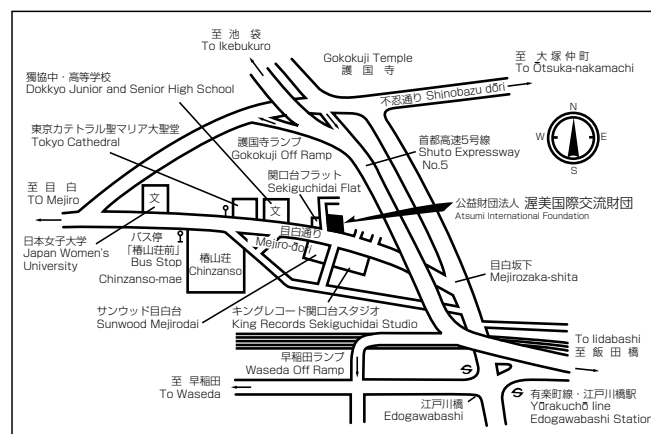
公益財団法人 **渥美国際交流財団**
ATSUMI INTERNATIONAL FOUNDATION

〒112-0014 東京都文京区関口3丁目5番8号
3-5-8 Sekiguchi Bunkyo-ku Tokyo 112-0014 Japan

PHONE: 03-3943-7612 FAX: 03-3943-1512

E-MAIL: aisf-office@aisf.or.jp

<http://www.aisf.or.jp>



- JR山の手線目白駅より、都バス61番 新宿駅西口行、「椿山荘前」下車・徒歩3分
Take The 61 bus from Mejiro Station (JR Yamanote line) and get off at the “Chinzansomae” stop. 3 min. walk.
- 東京メトロ有楽町線「江戸川橋」(出口A1)
下車・徒歩10分
Get off at Edogawabashi station from the Yurakucho subway line. (A1 exit 10 min. walk)

発行者：公益財団法人渥美国際交流財団

発行日：2018年6月1日

発行責任者：渥美伊都子

印刷：株式会社藤印刷



ATSUMI INTERNATIONAL FOUNDATION ANNUAL REPORT 2017

2017 年度 公益財団法人 渥美国際交流財団 年報